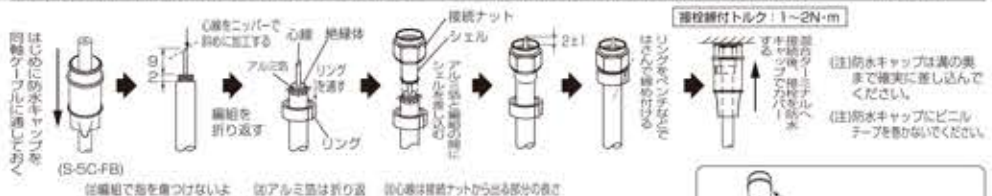
F形接栓(5C用)(付属品)への同軸ケーブル接続方法 (S-5C-FBケーブルの場合)

(単位：mm)



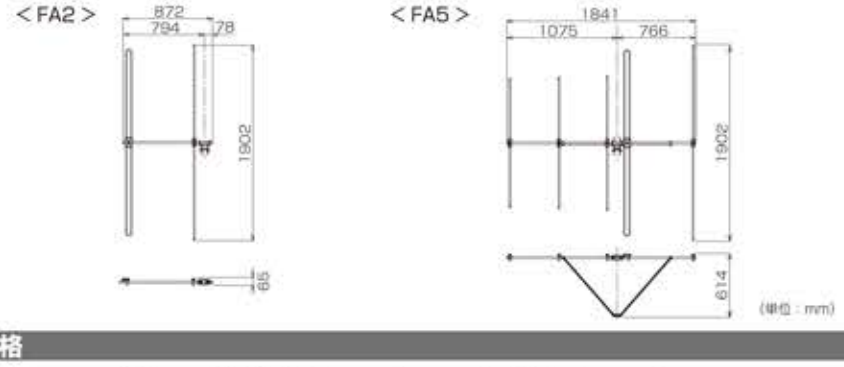
注意 防水キャップに接栓付き同軸ケーブルを通すときに、心線で手を突き刺すなどのケガをしないように、ご注意ください。

- 防水キャップは同軸ケーブルを加工する前に通しておき、取付後は容易に抜けないことを確認してください。
- **防水キャップにはビニルテープを巻かないでください。雨水がたまって故障の原因となります。**
- 同軸ケーブルの先端処理をする場合、心線、編組に傷をつけたり、心線、編組は絶対に接触しないようご注意ください。
- 編組と心線が接触しないようにしてください。テレビが見えなくなるだけでなく、電源部がショートして火災や感電の原因となります。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。

使用上のご注意

- アンテナを設置するとき、ネジ類はスパナなど工具を用いて、**指定の締付トルクでしっかりと**締め付けてください。
- アンテナマストは、ステーワイヤーを用いて3～4方向からしっかり張ってください。ステーワイヤーの固定には「支線止め」をおすすめします。

外形寸法図



性能規格

品名	FM2素子アンテナ		FM5素子アンテナ	
型番	FA2		FA5	
素子数	2		5	
受信帯域	FM	V-Low	FM	V-Low
受信周波数 (MHz)	76～95	95～108	76～95	95～108
偏波面	水平偏波専用		水平偏波専用	
インピーダンス(Ω)	75(F形)		75(F形)	
動作利得 (dB)	−2～4.5	−3.5～0	4～5.5	4～7
前後比 (dB)	5～14	4～10	7～16	7～16
VSWR	−	−	2.5以下	2.5以下
半値幅 (°)	60～76	60～72	58～68	48～64
受風面積 (㎡)	0.09		0.17	
耐風速 (m/s)	45 (注)		45 (注)	
適合マスト径 (mm)	φ22～49		φ22～49	
質量 (kg)	0.96		2.0	
寸法(H)×(W)×(L)	65×1902×872		614×1902×1841	

※規格は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。 (注) 耐風速は破壊風速です。
※この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

製品に関する お困りごとを解決! Dサポ! DXアンテナ サポートポータル
ホームページでも詳しい手順を確認できます。QRコードからアクセスしてください。
(1000)
スマートフォンで各種設定方法がわかる→

カスタマーセンター 土・日・祝日もご利用ください! ナビダイヤル 0570-033-083 (1908)
※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。
DXアンテナ株式会社
■受付時間 9:30～17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)
■一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合：050-3818-9016
ホームページアドレス https://www.dxantenna.co.jp/

5081-6

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

DX ANTENNA

FM・V-Lowアンテナ

水平偏波専用モデル (※1)

FM 76～95MHz・V-Low 95～108MHz
[FM補完放送対応](※2)
[V-Low放送対応](※3)

<FA2>

2素子 **FA2**
5素子 **FA5** (ステーアーム付)

<FA5>

- FMおよびFM補完放送に対応。(※2)
- V-Low放送受信に対応。(※3)
- 給電部にはF形接栓を採用。(F-5接栓付属)

(※1) 垂直偏波の地域では使用できません。
(※2) FM補完放送とは…AM放送局の放送区域で難聴対策や災害対策のためにFMの周波数で補完的にAM番組を放送することです。
(※3) FMとV-Lowを同時に受信する場合、FMの電波が強すぎて受信機(別売のブースターを使用する場合はブースター)が過入力になる場合があります。
その場合は、アンテナ出力と機器の間に別売のアッテネーターを挿入することで改善できる場合があります。

取扱上のご注意

- アンテナ工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店に相談してください。
- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- アンテナを落としたり、ぶつけたり、パイプ部を曲げるなどの無理な力を加えないように注意してください。
- 屋根などに取り付ける場合、瓦やスレートなどの強度に注意し、転倒落下しないように安全性と安定性を十分に考慮してください。
- アンテナ本体やマスト、支線などが、電灯線や電話線に近付かないよう、十分離して取り付けてください。
- 組み立ての際、ネジ類はスパナなど工具を用いてしっかりと締め付けてください。
- 建物や障害物などで受信できない場合があるので、設置前には必ず受信確認を行うようにしてください。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

⚠	一般的な注意事項	⃠	機器の分解禁止	⃠	接触禁止	⃠	一般的な禁止事項	❗	指示を守る

⚠ 警告

この内容を無視して、誤った取り扱いにより使用者が死亡または重傷を負う可能性が高い内容を示しています。

- **アンテナや取付装置などに乗ったりしない**
  転落や、アンテナが倒れたり破損したりして、けがの原因となります。
- **風の強い日や雨、雪、雷などの天候が悪い日や暗い所では、設置工事をしない**
  転落や、部品の落下の危険があります。
- **不安定な場所、高所などで作業をするときは、足場と安全を確保するなどの対策をする**
  転落や、けがの原因となります。
- **雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れない**
  感電の原因となります。
- **次のような場所に設置しない**
  送配電線、ネオンサイン、架線や電話線の近く・人や車両の通行の妨げになる場所・強度の弱い場所や地盤の弱い場所 ぐらついたり振動する場所・煙突の付近や、高温になる場所
- **ケーブルに無理な力を加えたり傷つけたりしない**
  火災や感電の原因となります。
- **アンテナの部品や工具類を高い所から落とさない**
  けがの原因となります。
- **製品を分解・改造しない**
  感電やけがの原因となります。

⚠ 注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- **台風の後や積雪の後などは、点検をお買い上げの販売店または工事店に相談する**
  アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあり、そのままにすると、破損や落下により、けがの原因となることがあります。
- **取付金具、アンテナなどに洗濯物や他の物を掛けたりしない**
  アンテナが倒れたり破損したり、けがの原因となることがあります。
- **マンションやアパートなどでは、管理組合、管理事務所、自治会などに必ず確認のうえ、取付ける**
  アンテナの取付けが規制されている場合があります。

設置上のご注意

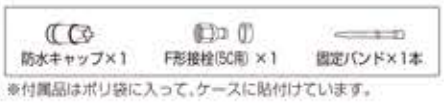
次のような場所に設置しないでください。
- 送配電線、ネオンサイン、架線や電話線の近く
- 人や車両の通行の妨げになる場所
- 強度の弱い場所や地盤の弱い場所、ぐらついたり振動する場所
- 煙突の付近や、高温になる場所

組み立てや取り付けのネジやボルトは、指定の締付トルクで締め付け、固定してください。

構成部品

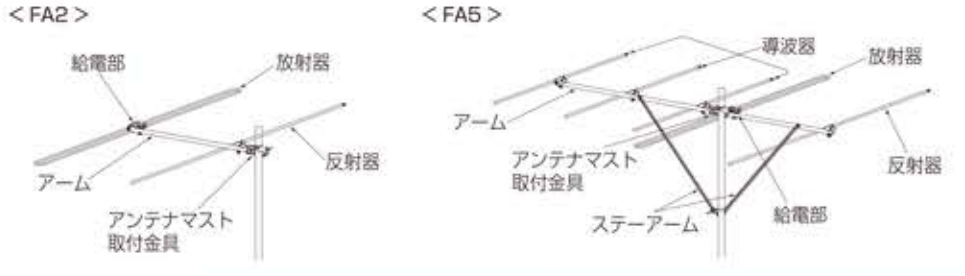
アンテナ本体

付属品< 共通 >



※付属品はポリ袋に入って、ケースに貼付けています。

各部の名称



お取扱いの前に

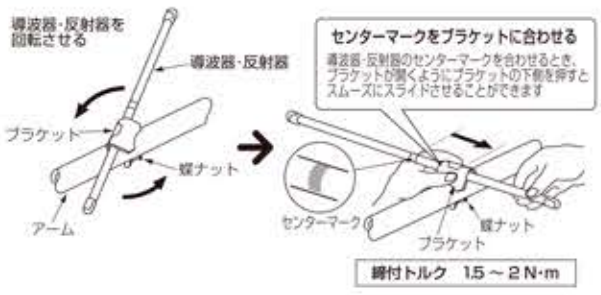
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。
- アンテナを落としたり、ぶつけたり、アームや導波器、反射器を曲げるなど無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 屋根などに取り付ける場合、瓦やスレートなど設置場所の強度に注意し、また長期にわたり台風などの強風に耐えるように強固に固定し、落下、転倒しないよう安全性と信頼性を十分に考慮してください。
- アンテナ本体やアンテナマスト、ステーアーム(支線)などが、電灯線や電話線に近づかないよう、十分離して取り付けてください。
- このアンテナは直径22mm～49mmのアンテナマストに取り付けることができます。
- アンテナの設置は局の方向を確認してから行なってください。

アンテナの組立方法

●導波器<FA5>・反射器<共通>の組み立て

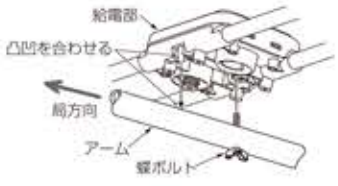
①ブラケットの蝶ナットをゆるめて導波器・反射器がアームに対して直角になるように回転させてください。

②導波器・反射器のセンターマークをブラケットに合わせて蝶ナットでしっかりと締め付けてください。



●給電部の組み立て <共通>

給電部とアームの凸凹を合わせて蝶ボルトでしっかりと締め付けてください。

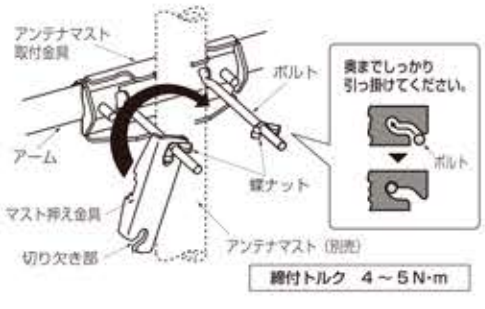


アンテナマストへの取付方法 < 共通 >

①図のようにマスト押え金具の切り欠き部をボルトに掛け、蝶ナットを軽く締めてアンテナマストへ仮固定します。

②FM対応のレベルチェッカーやFMラジオを確認しながら受信状況が最適になるようにアンテナの方向を調整した後、蝶ナットをしっかりと締め付けて固定してください。

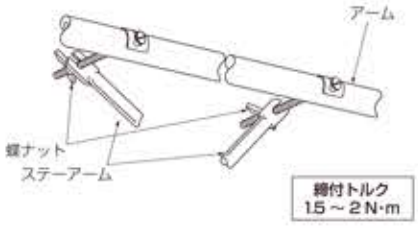
(このアンテナは直径22mm～49mmのアンテナマストに取り付けることができます。)



ステーアームの取り付け < FA5のみ >

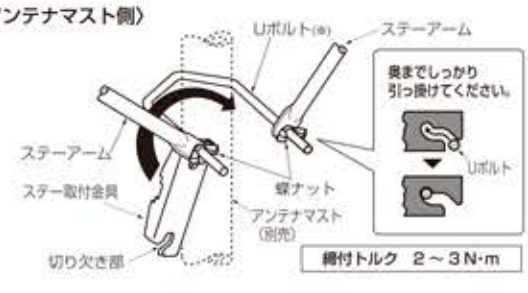
①アーム側に取り付けられた蝶ナットを一旦緩めてからステーアームを掛け、蝶ナットをしっかりと締め付けてください。

〈アーム側〉



②アンテナマスト側のステー取付金具の切り欠き部をボルトに掛け、蝶ナットをしっかりと締めてアンテナマストへ固定します。

〈アンテナマスト側〉



(※) Uボルト、蝶ナット、ステー取付金具は、ステーアームに取付済